

新専門医制度に対する医学連からの問題提起

2016年7月22日
全日本医学生自治会連合

私ども全日本医学生自治会連合は、全国の医学部の学生自治会や医学生の連絡組織として、医学生の要求をつかみそれを叶えるべく活動し、医学生の、ひいては日本の医療全体の発展を目指して日夜努力しています。現在加盟校は79医学部中25医学部ですが、活動範囲は非加盟校にも及びます。

現在、日本専門医機構にて議論されている新専門医制度は医学生の将来に大きな影響を与えると予想されます。そこで、私どもは昨年2015年12月に全国の医学生を対象に「新専門制度に対する医学生の意識調査アンケート」を実施しました。結果、78大学から1561人の回答が得られました。

アンケートの集計結果から、学生に対する新専門医制度の内容説明が不十分であると感じている医学生が約70%であり、それゆえ制度の実体がつかめず制度の施行に際して、自分の希望する専門医が取れるのか等、不安を抱いている医学生が多いということ、また新専門医制度は医学生の中でも特に地域枠学生の進路に与える影響が大きいということが分かりました。(表1~7参照)

私どもは、近い将来日本の医療を担っていく医学生に新専門医制度の理解が得られていない状況で制度が施行されることに大きな不安を抱いております。

今回アンケートに寄せられた医学生の声の中に、「制度の説明が不十分である」、「説明会など制度を理解する機会が設けられていない」、というように医学生が制度を理解することに苦労している現状がうかがわれるものがありました。十分な説明がなされないと、キャリア形成に関する不安も解消されません。

「将来希望する診療科を選べるか不安」、「地域枠入学であり、働き方に制約が出てしまう」、「女性医師として出産や育児が医師として働く上でハンデになってしまう」、「志望する診療科が変わった時に、変更ができるのか解らない」というように、新専門医制度の上で将来の働き方に対する不安の声も多く上がっています。どの診療科を選ぶか、研究をするか、開業するのか等、多くの医学生が自分のキャリア形成に悩みを持っております。ただでさえ将来の不安を抱えているのに、新専門医制度によって将来がさらに不透明になってしまいます。新専門医制度が、「なりたい医師になれない制度」になってしまう懸念があります。

今回の調査と、2017年度の全面実施見送りの決定を踏まえ、改めて新専門医制度が医学生のキャリア形成やワークライフバランスを犠牲にしない制度となるよう、より丁寧な議論と、医学生や議論への参画の機会や、彼らの声を反映させ不安に応えるような対応を強く求めます。

私たち医学生は未来の医療の担い手です。医療の担い手を育む新専門医制度が、医学生にとって希望のある制度であることを願います。

全日本医学生自治会連合

住所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-7-8 東京労音お茶の水センター1F

電話 03-5840-8263

FAX 03-3816-9266

メール info@igakuren.com

ホームページ <http://www.igakuren.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/igakuren/>

表1. 回答者の学年内訳
n=1561

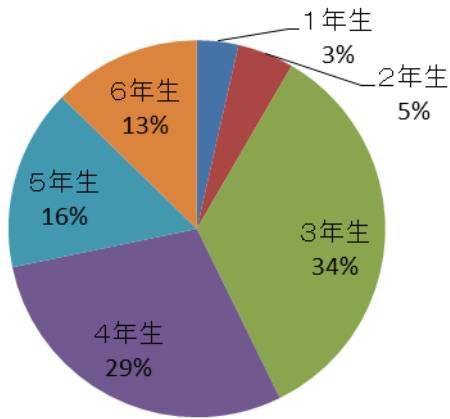


表2. 新専門医制度を知っているか
n=1561

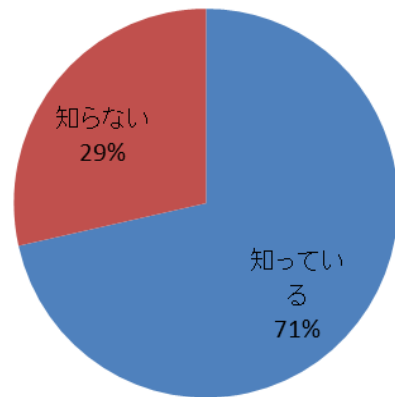


表3. どこで新専門医制度の施行を知ったか
(複数回答可)

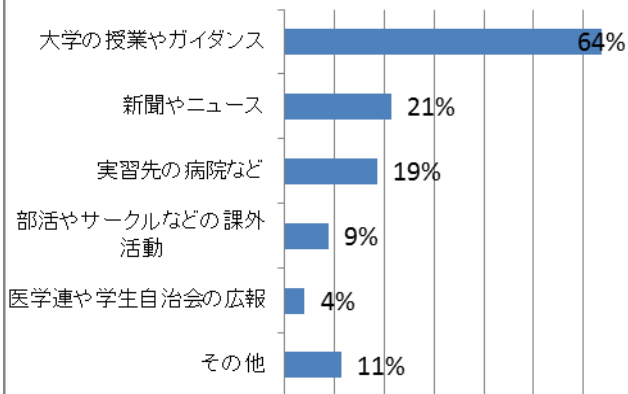


表4. 医学生への説明は十分か
n=1103

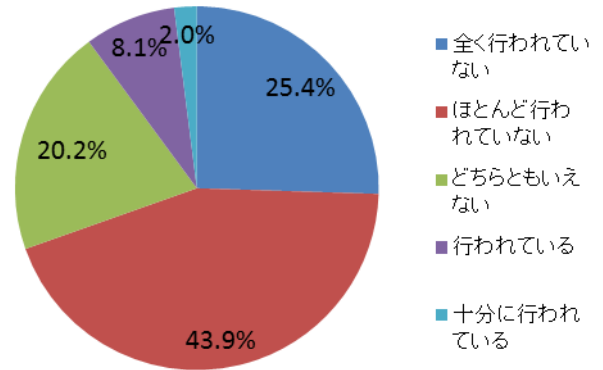


表5. 新専門医制度について知りたいこと
(複数選択可)

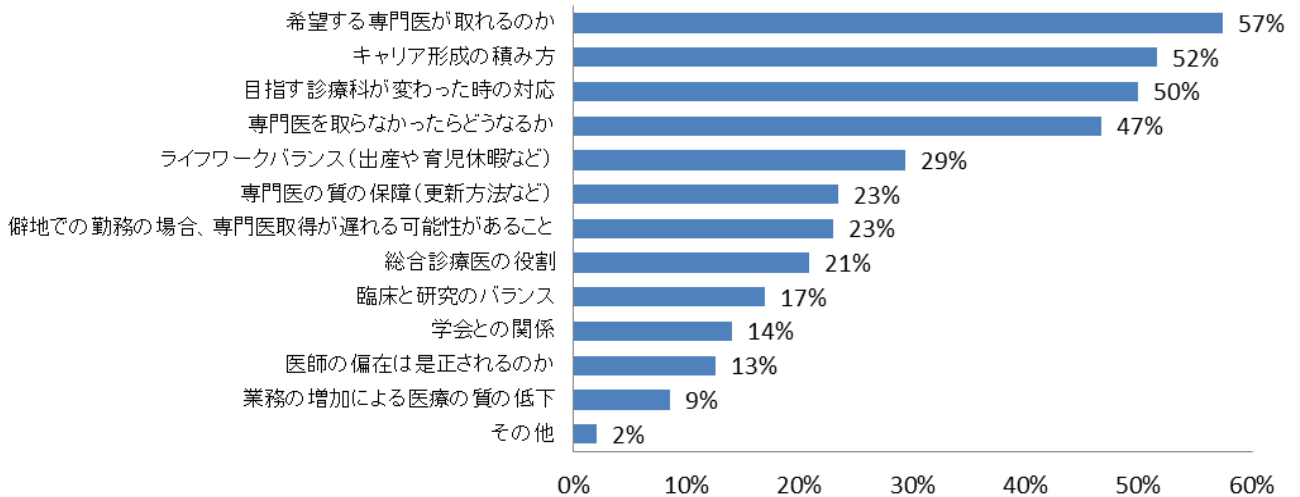


表6. 研修病院選択への影響度

n=1561人

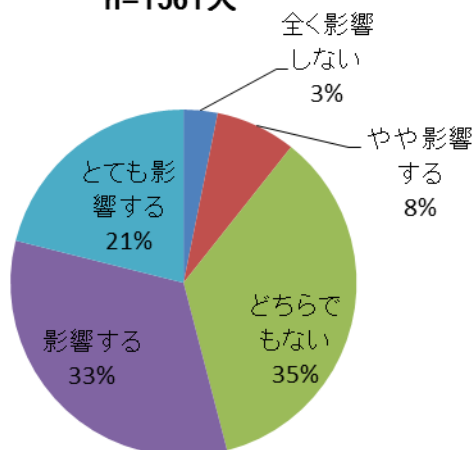
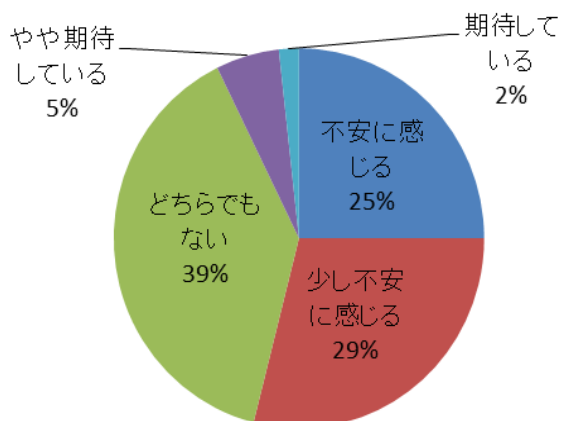


表7. 新専門医制度への期待度

n=1561人



アンケート自由記載

■「学生に対して説明不足と感じる」

- ・専門医制度について学生に対して分かりやすい説明があるとありがたいです。
- ・共通の資料、共通の説明の場が全国的にあるとよいと思います。
- ・噂程度でしか聞かないののだが、あまり良い話は聞かない。実際はどのようなものなのか、メリットデメリット開示してもっと説明してもらいたい。
- ・情報が少なかったり正しくなかったりするので、できるだけ早く医学生に正確な情報を提供する場を設けて欲しい。
- ・もっと情報がほしい
- ・専門医制度について、そもそもあまり理解する手段がないように感じます。
- ・専門医制度についてインターネットで検索しても十分な結果が得られないため、大学での説明を受けたい。
- ・自分たちの少し上の代から始まるので、心配なことや分からないことが多く、まだ科は決まっていないので、どうすればいいのか、何ができて何ができないのか、いろいろあって難しい。
- ・何通りかの具体的な例を用いたライフワークについての説明会を一度各大学で設けてほしい。
- ・専門医制度だけでなく、卒後について説明が学校から少ない。
- ・もっと学生に対してくわしく説明してほしい。
- ・まだ授業で専門医制度についてガイダンスがないからわかりませんが、よりわかりやすい冊子や問題点、課題をまとめたものを出してほしいです。就活や進む科をより決めていくのに役立つと思います。
- ・学生全体への説明などまったくされていない状況なので、説明会や質疑応答 (Q&A) の機会が欲しい。
- ・専門医制度を不安に感じている人が周りに多い気がする。メリットもあるので、それを知るためにも、もっと制度の説明が必要だと思う。
- ・もっといろいろ知りたい。大学でもしっかりと教えるべきだと思う。
- ・公式な説明会でも決まっていないことばかり発表されていたので、実際にどうなるか知らない学生も

多いと思います。現場でプログラムを作っている医師の方のほうがよく理解していられたのでその方たちに説明をお願いしたいです。

- ・前に1度出席必須の専門制度の説明会があったのですが、その時、研修医の方や6年生の方が質問に対して説明に来ていた人（政治家）が、ぼかして答えたり、質問の内容には答えなかったりと全く参考にならなかったため、政治家以外の話を聞きたいと思いました。
- ・新専門医制度の内容について、もっとわかりやすく教えてほしい。
- ・情報発信をもっと積極的に行ってほしい。
- ・広める努力をしてください。
- ・詳しい内容が決まったら教えてほしいです。大学病院にとって有利な条件などがあれば知りたいです。
- ・国民のための制度ではあるが、主体の医学生や医師に対して説明や内容があまり言われておらず、誰の為の制度なのか思うことがあります。

■「地域枠学生への説明が不十分」

- ・大学ごとに特に地域枠の学生には強制でもいいので、低学年から説明すべきでは思う。自分には関係のない話だと考えている学生も少なくないと感じる。
- ・地域枠の義務年限を勤務し終えてから専門医を取得するのでは、キャリアを積むためのハンデになるのではないかと心配です。医学生への説明が不十分だと思います。
- ・すごく不安です。地域に貢献したい気持ちはあるけど、奨学金は返したいと思うくらいです。憤りを感じる。
- ・学年に向けての説明は一度だけあったが、地域枠と絡めた説明はなかった。

■「新専門医制度の上で将来の働き方、ワークライフバランス、キャリア形成に不安を感じる。」

- ・来年からのことなのに全然知らない自分にびっくりしている。行きたい病院に行けないかも知れないと思うと心配。
- ・コースが決まることで専門医の質が上がるのかもしれないが、専門科以外の知識習得に支障が出るようなら良くないと思う。
- ・専門医を複数取得している偉い先生方の扱いはどうなるのか？また、途中で診療科を変えたくなったとき現実としてそれは可能なのか。
- ・初期研修以降の研修先がまだ正式決定されていないので、大学以外の選択肢が少なく、大学に戻ることを強要されているように感じる。
- ・どの地域で働いていても差がうまれないような制度にしてほしい。
- ・研修医の間に得た症例を専門医制度に利用できるのかどうかあいまいで研修先が決められなかった。
- ・専門医を取得するまでに時間がかかりすぎる。女性の場合、出産・育児などで数年休んだ場合、いつまでたっても1人前になれない。
- ・専門医制度では出産や育児をのぞむ女性医師が働きづらくなると思う。そうならないような工夫があってほしい。
- ・外科に進んでも基本的に挫折が許されないシステムで改悪だと思う。
- ・新専門医制度は、システムの中身が医局制度そのままであり、以前のような閉鎖的・封建的なものに

戻ってしまうと思う。特に内科の制度に問題があり、他の診療科と比べて専門医取得に時間がかかり、満足な研究も行えないので、多くの研修医が内科以外に流れるのではないかと。

- ・内科医になるまで時間がかかり、研究に興味のある自分としては最悪の制度だと思う。要は、大学研修に集約させるためのシステムであり、専門医機構は学生や研修医の声も取り入れろ。
- ・複数科に興味があった場合、一つに選んで知識が偏在するのが不安。他の診られなくなってしまうのだろうか？
- ・診療所など小さい医療機関では専門医の更新が難しいのではないかと。19 基本領域から一つを選ばないといけないのがイヤだ。
- ・個人的には、腎臓と循環器、老年病の研究に興味があるので、それを研究するためのライセンスを複数持つことができるのか、それにどれくらいの時間がかかるのか、など気になる。そのライセンスの維持に何かしないといけないのかなどが気になりました。
- ・現在すでに発行されている専門医と新しい専門医の資格は区別されるのか。専門医をたくさん有している医者の方が優秀そうに思われるのではないかと。
- ・卒業してから1つの専門医として活動するまでに約10年かかるとすると、医師の質はあがるが、妊娠・出産などへの対応もしっかりしてほしい。
- ・研修先の病院の選択肢が狭まってしまうことが不安。
- ・新専門医制度導入によって、女性のライフワークバランスがどう変化するのか知りたいです。
- ・急に色々制度が変わると、今まで考えていた将来の展望が叶わなくなる可能性もあり、正直、将来の見通しが立てず、ただただ不安になるばかりです。頑張って医学科に入ったのに、こんな仕打ちされるとは思っていませんでした。とても残念です。
- ・新専門医制度前の後期研修プログラムではダブルボードを目指すコースがあったが、新専門医制度では、そのようなコースがなくなっている。この点は不満な点である。
- ・専門医をとる途中やとった後、方向性を変えたくなかったときどうすれば良いかをはっきりさせてほしい。
- ・医師として専門医を取るにあたりどのような条件でなれるのか、キャリアとしてどのように活かせるのか、出産や育児と両立できるのかという不安はある。
- ・不安しかありません。
- ・総合診療専門医を設けたからといって、その地位や認定方法、キャリア形成など具体的に認定しないと総合診療専門医を目指す医師が大幅に増加しないのではないかと。
- ・専門領域を早めに選ばないと行けないのが大変。
- ・医師の負担軽減を第一に求めます。若い医学生が将来、それまでの医師には多少なりと免れることを許していた種々の負担と義務を不当に一方的に負わされることがないようにしてほしい。
- ・理念は悪くないと思うが、この制度によって本当に医師の偏在が是正されさらに医師ひとりひとりの働く環境が改善されるかについては疑問です。新制度になることは知らされていても具体的な制度設計がはっきりしないままで、対象となる人の多くが不安を感じていると思います。医療は、その地域に生きる人たちの生き方に合わせて変わるものだし、医師に求められるものも変わってくると思うのですが、原則的にひとつの専門医しか取得できないとなるとできることが制限されてしまうのではないのでしょうか。患者さんのための制度になってほしいです。

■「地域医療崩壊、医師の偏在を促進する制度なのではないか。

将来の医療に悪影響を与えるのではないか。」

- ・新専門医制度により研修医が大学病院などの大きな病院に集まってしまい、地域医療にとって重要な総合診療科の医者が減ってしまうのではないか。
- ・医局医制度が崩壊したにもかかわらず、また似たような制度が導入されることに馬鹿ばかしさを感じます。
- ・新専門医制度によって、大病院でしか専門医がとれず、医師の偏在化がさらに進むのではないかと思います。
- ・大学に人を戻すための制度だと認識しています。
- ・結局のところ、大学での研修者あるいは入局者を増やしたいという大学の希望と、専門医を取りにくくすることで、最終的に医療費を削減したいという政府の希望とがいい感じにマッチした”企み”にしか過ぎないという思いを持っている。医師の偏在を助長すると思えないこのシステムを、あえて始動するとは、一体、医療の世界はどこに向かっていくつもりなのか？
- ・大学でしかほぼとれないという制度はおかしいと思う。

■「良い制度である、必要であると思う」

- ・第三者機関が関係することによって患者にとって分かりやすくなりそう。質があがりそう。
- ・自分のキャリア形成において、将来の見立てがやりやすくなる私生活との両立もしやすくなり、期待しています。
- ・個人的には各々の学会が様々な名称で専門医を認定していたのとは異なり、1つの機関で保障するというのは、患者さんも医師にもわかりやすのでよいと思う。
- ・患者にとっては医師選びの上で重要なポイントになるため、必要であると思う。

■その他

- ・あんまり学生を無視して、制度を改革しないでほしい
- ・これから専門医制度にあてはまる、医学生への周知、そして医学生の意見を取り入れることが必要だと思う。
- ・始まってからまた継続的にアンケートしてほしいです。

以上